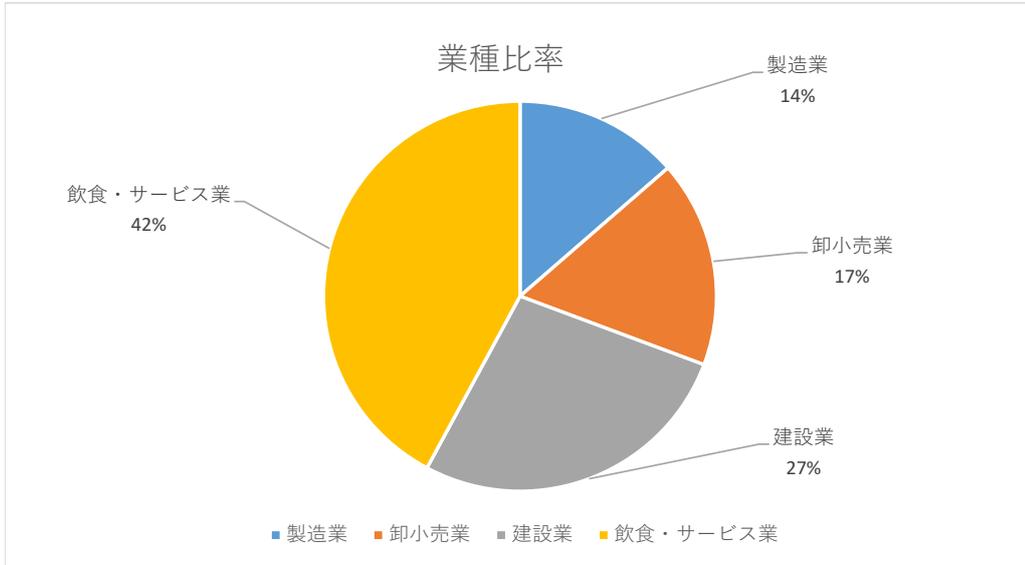


五日市商工会 令和6年度第1四半期景況調査 (2024年4月～6月)

1. 調査回答件数 140件

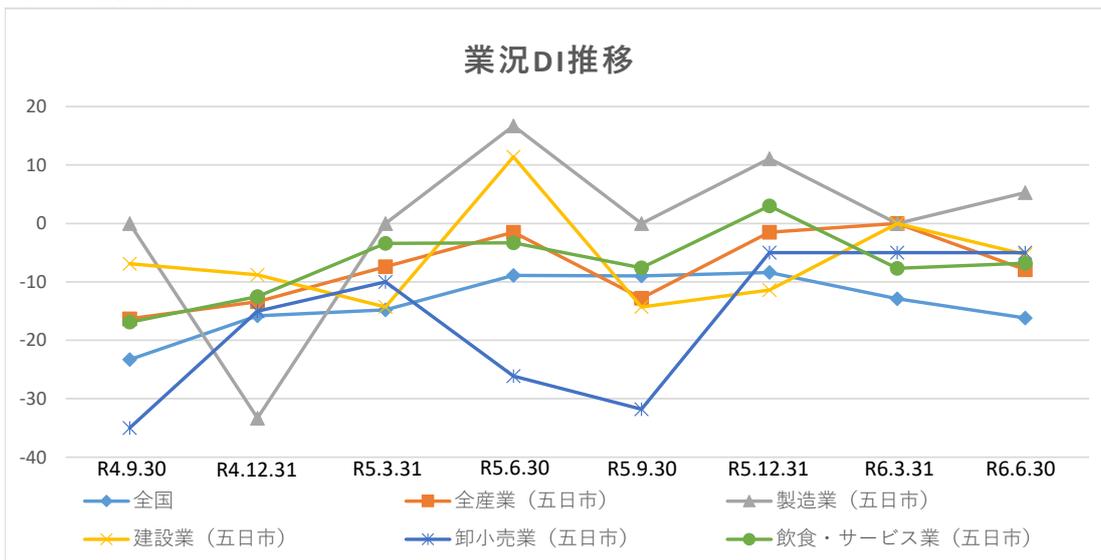


2. 業種別景況調査結果

	全国 (6月)		五日市商工会調査 4月～6月									
	全産業		全産業		製造業		卸小売業		建設業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲ 4.4	▲ 4.6	6.4	11.4	42.1	21.1	▲ 29.2	▲ 12.5	2.6	7.9	11.9	20.3
採算	▲ 16.8	▲ 14.4	▲ 7.9	▲ 5.0	5.3	▲ 5.3	▲ 29.2	▲ 33.3	0.0	▲ 7.9	▲ 8.5	8.5
仕入単価	▲ 67.7	▲ 56.8	▲ 71.4	▲ 62.1	▲ 84.2	▲ 73.7	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 81.6	▲ 76.3	▲ 61.0	▲ 49.2
雇用人員	21.4	21.7	12.1	13.6	10.5	5.3	4.2	4.2	21.1	23.7	10.2	13.6
業況	▲ 16.2	▲ 16.0	▲ 7.9	▲ 2.1	5.3	5.3	▲ 5.0	▲ 20.8	▲ 5.3	0.0	▲ 6.8	1.7

※全国数値は日本商工会議所LOBO調査から引用

3. 業況DI推移



4. 事業所からのコメント

	好転要因	悪化要因
製造業	・事業再構築の成果が現れている。	・原材料、燃料の高騰に伴うコストの増加。 ・賃上げの引上げに伴う労務費の増加。 ・コロナ渦に借入した融資の返済を開始。
建設業	・大型施設等の民間工事の発注量が増加。	・公共工事の発注量が減少。 ・建築資材価格の高騰によるコストの増加。 ・案件はあるが専門人材が不足。
卸小売業	・販売価格を転嫁し、利益率を維持している。	・仕入価格の高騰に価格転嫁が追い付かない。 ・物流 2024 年問題で 輸送費が上昇。
飲食 サービス業	・インバウンド需要が堅調。 ・新規事業の人材紹介業とセミナー業が好調。	・光熱費や労務費の上昇。 ・物価高で顧客の来店頻度、客単価が減少。 ・顧客の高齢化。

5. 設備投資（無回答は含まず）

4月～6月実績		7月～9月見込み	
実施した	土地	0	0
	建物	0	2
	機械設備	8	9
	車両	3	6
	OA	4	2
	IT	1	2
	その他	0	0
実施していない	124	119	

6. 当面の経営課題

1位	材料費や仕入れ価格が上昇	24.7%
2位	売上、需要が増えない	16.1%
3位	従業員や人材の確保が難しい	10.1%
4位	人件費が増加している	8.9%
5位	販売単価の低下、上昇難	6.6%

7. 総括

<ul style="list-style-type: none"> ・依然として原材料や燃料等の高騰、高止まりが続いている。 ・物流費の高騰や人材確保に向けた賃上げの実施等によるコスト負担の増加は業種を問わず継続している。 ・経営上の課題については、前回調査同様「材料費や仕入れ価格が上昇」がトップ。「売上、需要が増えない」「従業員や人材の確保が難しい」が続く。また、「人件費が増加している」と回答する割合が増加している。

※DI値（景況判断指数）について

<p>DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。</p> <p>DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)</p>
--